

# 感震ブレーカー

…って、なあに??



感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的に電気を止める器具です!

地震による火災の過半数は、電気が原因!!

東日本大震災における本震による火災111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が、電気関係の出火でした。



## 分電盤タイプ(内蔵型)

費用:約5~8万円(標準的なもの)  
※電気工事が必要

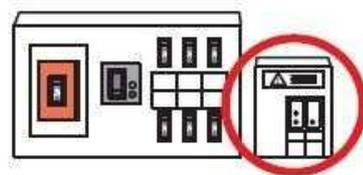
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



## 分電盤タイプ(後付型)

費用:約2万円  
※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。  
※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

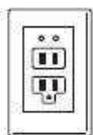


## コンセントタイプ

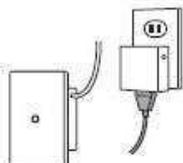
費用:約5千円~2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

(埋込型)  
壁面などに取り付けて使うもの  
※電気工事が必要



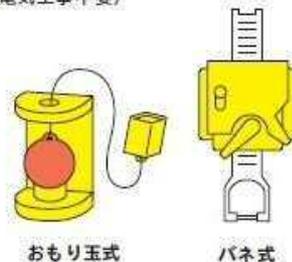
(タップ型)  
既存のコンセントに差し込んで使うもの  
※電気工事が不要



## 簡易タイプ

費用:約2~4千円程度  
※ホームセンターや家電量販店で購入可能  
(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



## 感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

### 基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。



地震探知後3分以内に停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

感震ブレーカーの設定に関しては、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組む必要があります。

- ★生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- ★夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を準備しましょう。

豊橋市消防本部からのお知らせ